

# 第5期(平成15年8月期) 決算説明会

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

2003年11月18日@東京証券会館



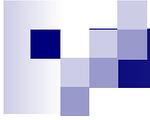


# 目次

**第一部 事業説明**

**第二部 決算説明(平成15年8月期)**

**第三部 将来の展望と戦略**



# 第一部

# 事業説明

# 1. 企業概要

大証ヘラクレス上場  
コード8462

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
(英語表記: Future Venture Capital Co., Ltd.)

資本金	11億3625万円	特色	1. 京都に本社を置く独立系VC 2. 投資後の育成に重点を置くVC 3. 新規性に富んだVC
設立年月	1998年9月		
業務内容	ベンチャーキャピタル業務	実績	2003年8月期 売上高 362百万円・経常利益 224百万円 自己資本比率 62.4% 全12組合ファンド総額 77.64億円(2003年10月末) 投資実績 123社66.3億円(2003年10月末) 株式公開企業数 7社(2003年10月末)
従業員数	41名		
役員	代表取締役社長 川分陽二 取締役 大橋克己 取締役 金田泰明(非常勤) 監査役 烏野伊蔵 監査役 岡部陽二(非常勤) 監査役 小川忠久(非常勤)	本社所在地	〒604 - 0022 京都市中京区室町通御池上ル 御池之町314番地 イトコアパレルビル5階 (投資部) Tel:075-257-6656 / Fax:075-211-6965 (管理部) Tel:075-257-2511 / Fax:075-211-1601
		事業拠点	京都本社・東京支店・金沢事務所・岩手事務所

## 代表者略歴

川分 陽二(かわけようじ)  
代表取締役社長



1953年5月生  
滋賀県彦根市出身  
京都大学法学部卒業

1977年、住友銀行(現 三井住友銀行)入行。新宿、神田、日本橋等の支店において、個人、中小・中堅企業から大企業まで、新規開拓及び取引関係の強化業務を担当し、国際金融法人部を経て、国際業務部所属時、中東のアブタビ国立銀行へ派遣され海外勤務も経験

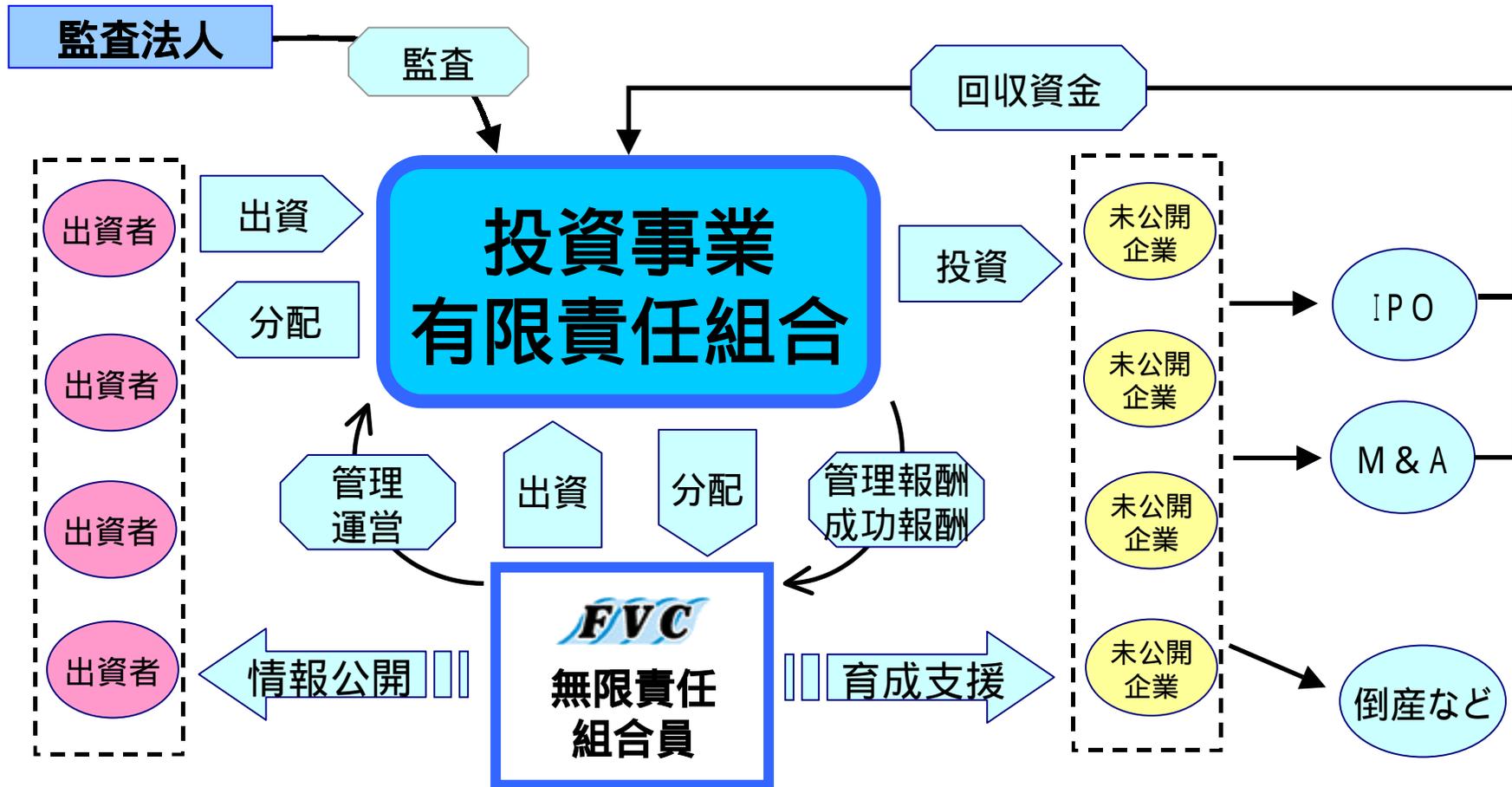
1989年、日本アセアン投資(現 日本アジア投資)入社  
投資部長、大阪支店長、審査部長、業務推進部長等を経て1997年6月取締役に就任

大阪支店長在任中(1992年から4年間)に、当時株式公開とエクイティファイナンスを活用した経営戦略を有望未公開企業の経営者に対して指導。関西圏の未公開企業28社に対して約30億円を投資し、9社が公開・上場を達成した

1998年9月独立し、フューチャーベンチャーキャピタル(株)を設立して代表取締役に就任  
2001年10月10日にナスダック・ジャパン(大証ヘラクレスに名称変更)に上場

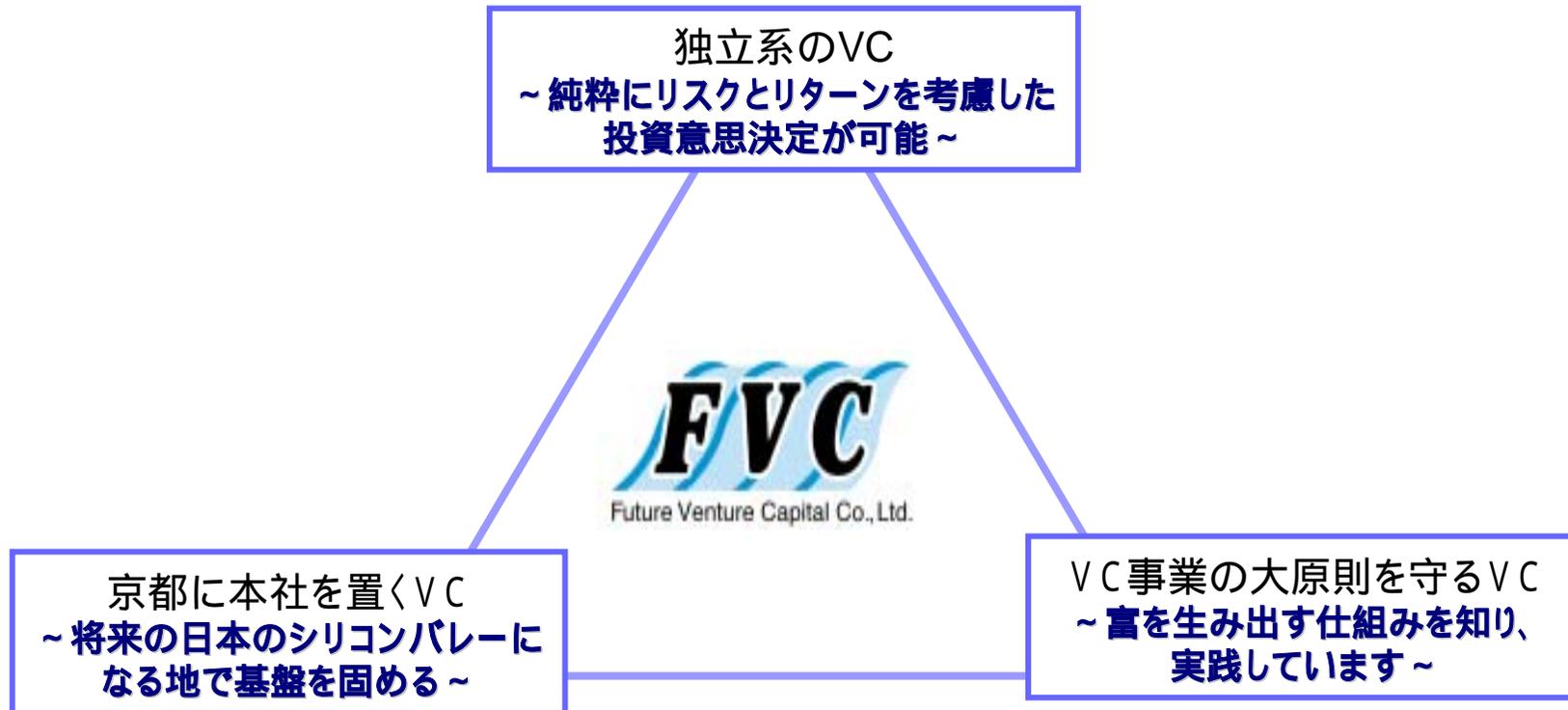
Copyright ©Future Venture Capital Co. Ltd.  
2003 All Right Reserved

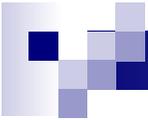
## 2. 事業のしくみ



投資事業有限責任組合(ファンド)を通じて**分散投資**をすることにより、一般にハイリスクと言われている案件に投資できるしくみになっています。

### 3.FVCの特徴





## 4 . ファインディング

### ( 1 ) ディール・ソースの内訳

FVCの役職員のネットワーク、異業種交流会、地方自治体、大学、事業法人、監査法人、金融機関、投資先企業、弁護士、税理士、弁理士、コンサルタント会社、調査会社など。

### ( 2 ) ディールフロー

年間600～800件、投資審査案件数50社程度、投資実行件数20～25社程度

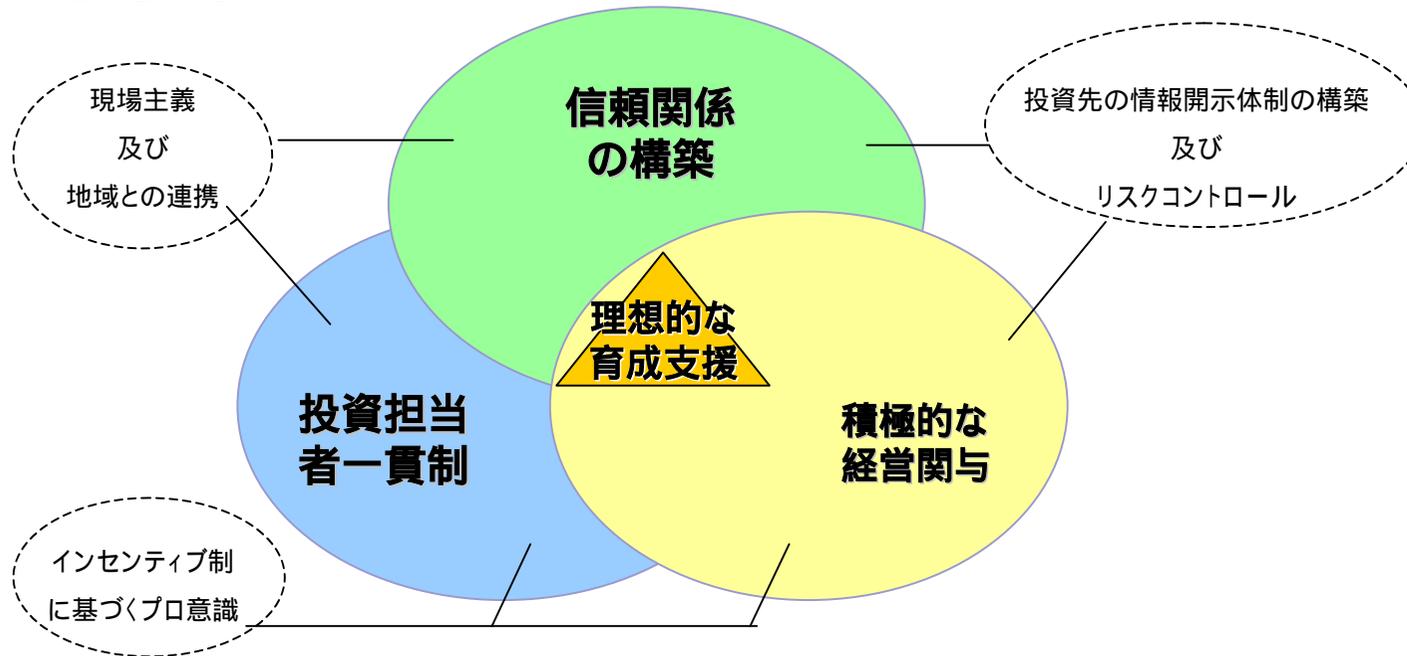
## 5 . 目利き

最低3ヶ月以上時間をかけて投資候補先の経営者との信頼関係を構築しながら、経営者の資質とビジネスモデルの精査をいたします。

投資候補先には監査法人のショートレビューを受けていただきます。その後、投資委員会が開催され、様々な観点から審議されます。

投資決定にあたっては、現場主義にもとづき、投資担当者の意見を最大限参考にして、最終的には投資委員会委員長の判断となります。

## 6. 育成方針



## 7. 育成体制

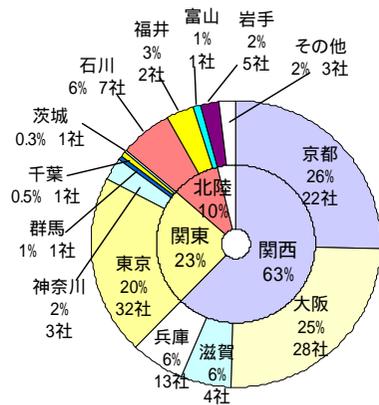
CIO (チーフインベストメントオフィサー)	1名
SIO (シニアインベストメントオフィサー)	5名
IO (インベストメントオフィサー)	5名
投資担当者	13名

CIOは投資委員会の最終決定権者。通常の投資案件は、SIOとIO、またはSIOと投資担当者が2人1組チーム体制で取り組みます。

# 8.ポートフォリオ構築

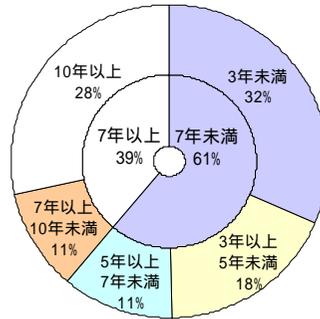
FVC 分類別投資先一覧 2003年10月末 123社

地域別(金額ベース)



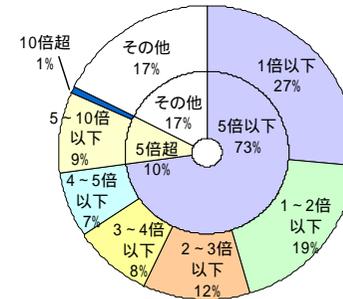
設立年別(金額ベース)

投資時点の設立後経過年数

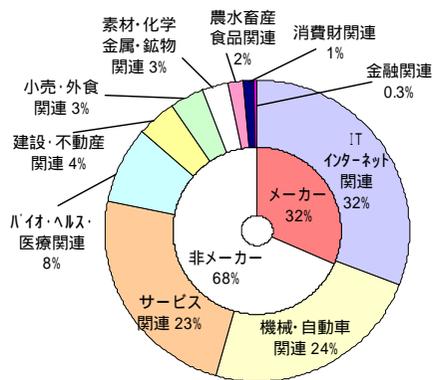


投資株価別(金額ベース)

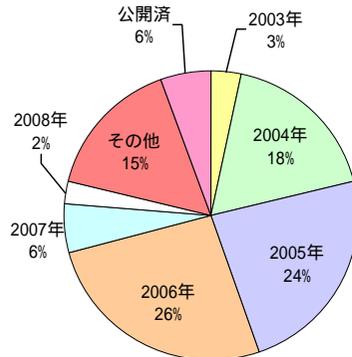
設立時の株価を基準に算出しております。但し、投資前に廉価な株主割当増資を実施している先はその他へ計上しております。



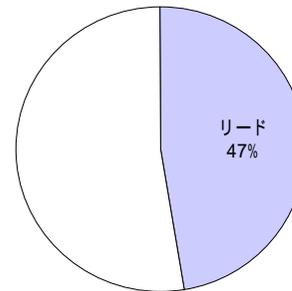
業種別(金額ベース)



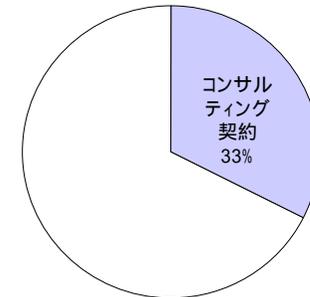
公開目標決算期別(件数ベース)



リードインベスターとして投資している先(件数ベース)



コンサルティング契約(件数ベース)



投資先企業の事業計画書による目標

17社に非常勤役員を派遣しています

## 9.ファンド一覧 (FVCの運用ファンド一覧 2003年10月末日現在)

### 【バランス型ファンド】

フューチャー六号投資事業有限責任組合 (1.4億円・02年7月設立)

日本で初めての投資事業有限責任組合

フューチャー一号投資事業有限責任組合 (2.5億円・98年11月設立)

日本で初めて中小企業総合事業団が純民間VCの組合に対して出資 (5億円)

フューチャー二号投資事業有限責任組合 (10億円・99年6月設立)

経済産業大臣の確認を受けた特定投資事業組合

フューチャー三号投資事業有限責任組合 (12.5億円・00年8月設立)

フューチャー四号投資事業有限責任組合 (11.5億円・01年7月設立)

フューチャー五号投資事業有限責任組合 (7.2億円・02年1月設立)

### 【地域活性化を目指した地域密着型ファンド】

それぞれの地域に事務所を構え、「現場主義」を貫く体制を整えています。

石川県ベンチャー育成投資事業有限責任組合 (15億円・01年2月設立)

いわてベンチャー育成投資事業有限責任組合 (10億円・02年4月設立)

### 【特化型ファンド】

三井住友アセットマネジメント(株)が運用する

未公開株運用型の会社型投信・ベンチャービジネス証券投資法人から出資を受けている投資事業有限責任組合

フューチャー・ブイビー投資事業有限責任組合 (4.1億円・01年11月設立)

個人投資家も一口100万円からはじめられる投資事業有限責任組合

フューチャーエンジェル一号投資事業有限責任組合 (84百万円・02年4月設立)

関西を中心とした大学発VB・産学連携に特化した投資事業有限責任組合

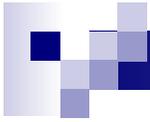
京都イノベーション育成投資事業有限責任組合 (60百万円・02年5月設立)

「関西を元気にする会」と組成した投資事業有限責任組合

関西を元気にする投資事業有限責任組合 (2億円・02年7月設立)

# 10.パフォーマンス (2003年10月末現在)

上場企業	(会社名)	(事業内容)	(上場市場・上場日)
	1.ネクストウェア(株) 大阪市中央区	情報処理に関するコンサルティング、システム設計、ソフトウェア開発、SE派遣	ヘラクレス 2000/12/1
	2.(株)ソディックプラスチック 横浜市	合成樹脂加工機械(射出成型機)及び関連機器の開発、製造、販売	ジャスダック 2001/8/31
	3.(株)ジェイホーム 東京都新宿区	高気密・外壁断熱住宅の販売	ジャスダック 2001/11/28
第5期 (平成15年8月期)	4.(株)セイクレスト 大阪市淀川区	マンションの企画・販売、不動産の開発及び売買・賃貸・管理並びにその仲介等	ジャスダック 2001/12/6
	5.ピービーネット(株) 大阪市北区	食を提供する中小専門店に対して食材・原材料の業種特化型供給	ヘラクレス 2002/9/10
	6.(株)モック 名古屋市中区	結婚式の2次会・法人パーティーのアレンジ及び結婚式の引き出物の販売	マザーズ 2003/4/22
	7.(株)ケア21 大阪市北区	24時間巡回型ホームヘルプサービス業務、介護用品・機器の販売、配食サービス等	ヘラクレス 2003/10/16
破綻先企業	10社		

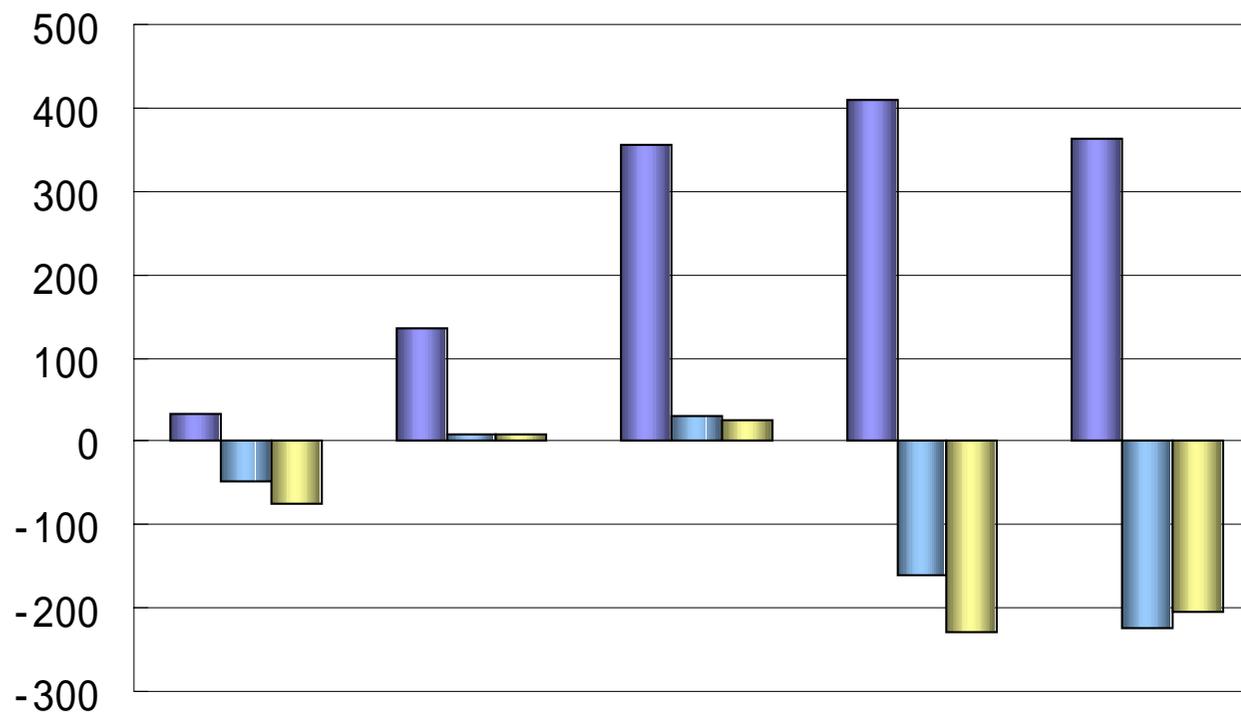


## 第二部

# 決算説明 (平成15年8月期)

# 1. 売上高、経常損益、当期純損益の推移

(単位:百万円)



(単位:千円)

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
売上高	33,130	136,306	355,346	409,533	362,592
経常利益(又は損失)	48,422	9,065	29,227	160,394	224,022
当期純利益(又は損失)	73,701	8,115	24,594	227,967	204,420

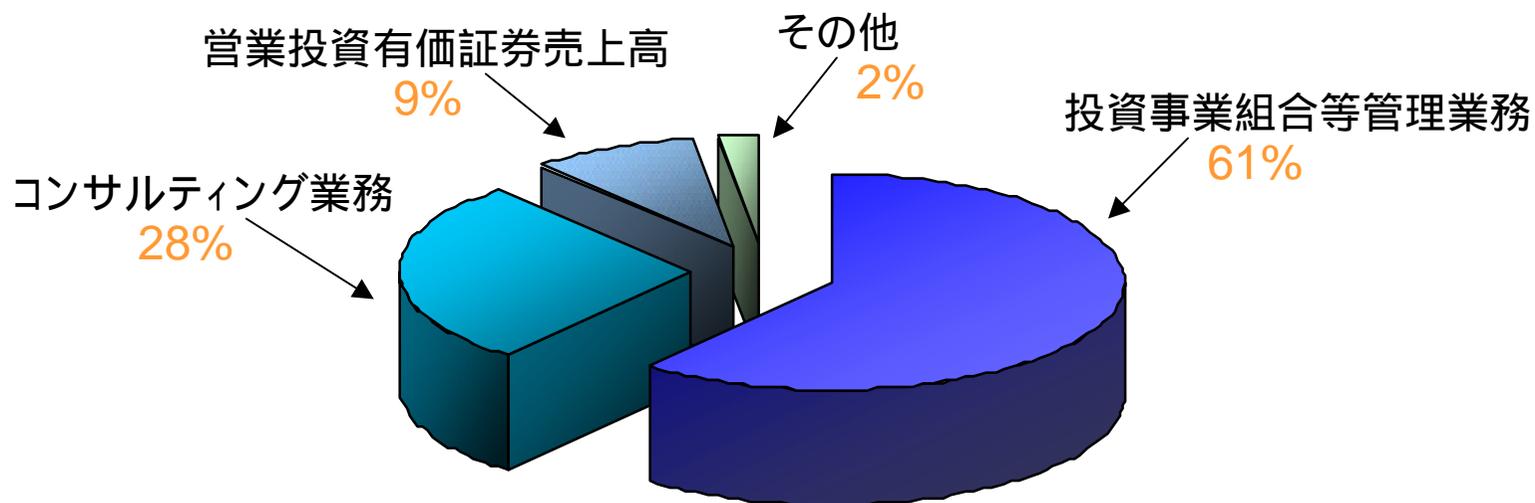
## 2.売上高の内訳の推移

今後、大きくなる可能性

(単位:百万円)

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
投資事業組合等管理業務	12	52	132	213	221
コンサルティング業務	15	75	172	162	101
営業投資有価証券売上高	1	8	43	25	33
その他	5	1	8	9	8
合計	33	136	355	410	363

### 第5期売上高の内訳



### 3. 総資産、株主資本の推移

(単位:百万円)

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
総資産	166	1,273	1,460	1,797	1,748
株主資本	136	1,222	1,247	1,287	1,090
株主資本比率	82%	96%	85%	72%	62%

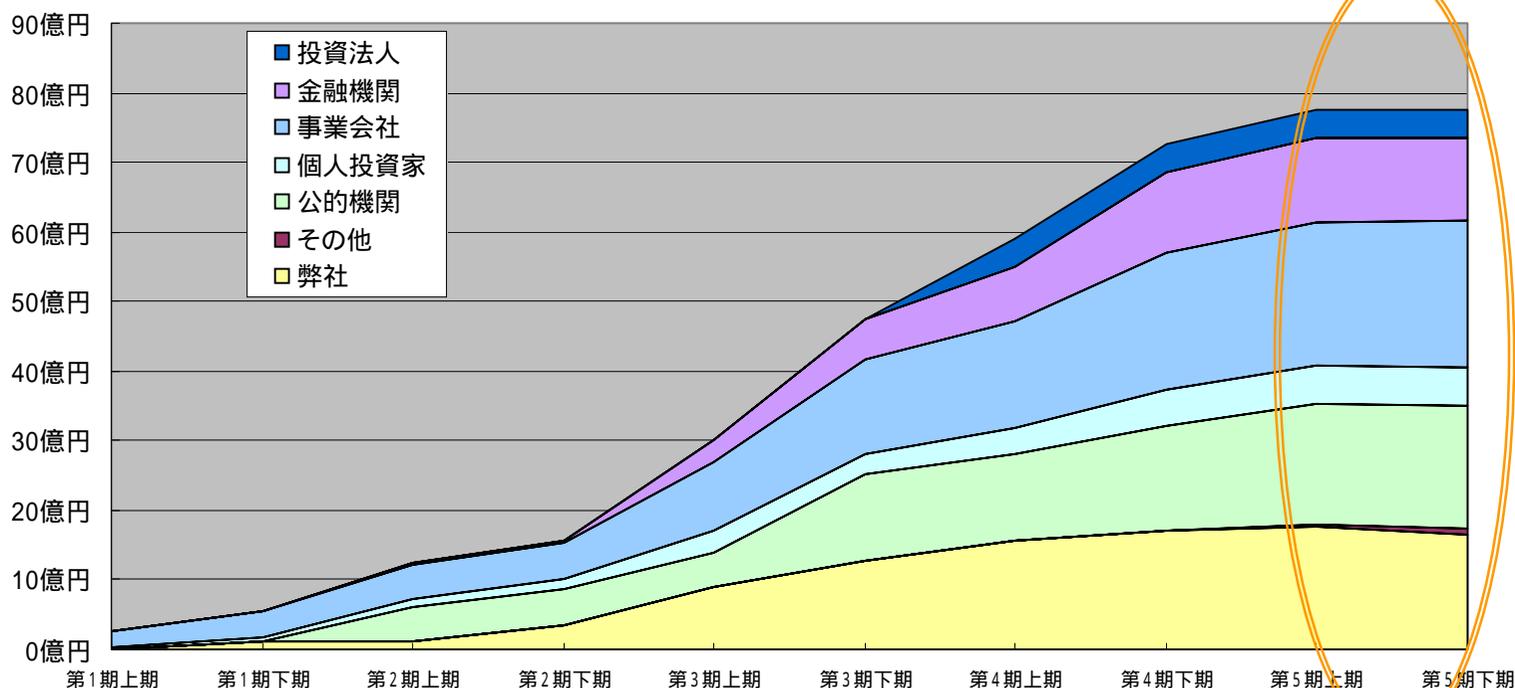
### 4. キャッシュフローの推移

(単位:百万円)

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
営業活動CF		205	870	647	94
投資活動CF		3	9	21	4
財務活動CF		1102	105	553	163
現金等期末残高		990	216	101	166

ファンド持分は含んでおりません。

# 5.ファンド募集の推移

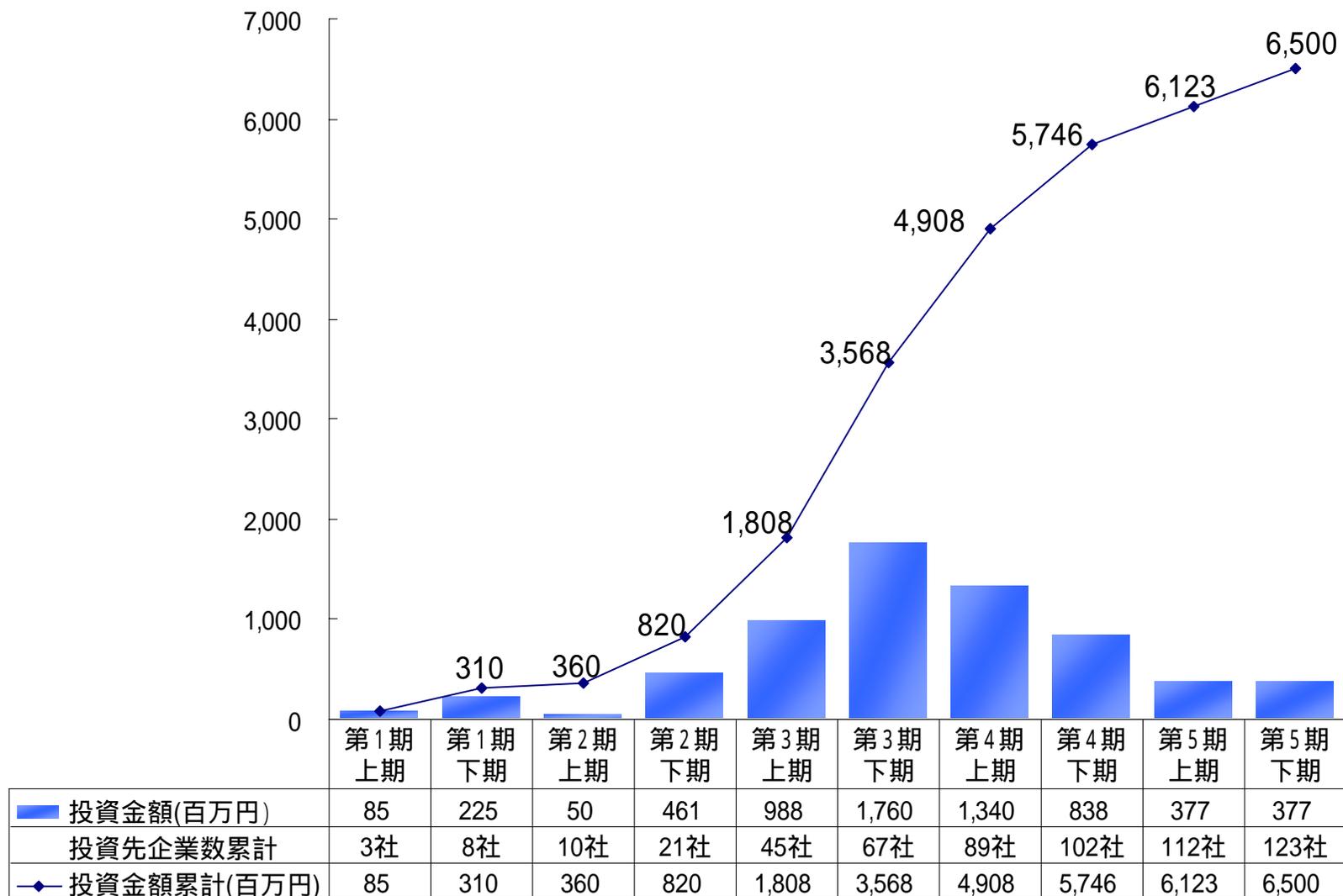


## 出資組合員の層別出資動機例

- ◆個人投資家及び投資法人・・・金融商品の一つとしての純粋な運用目的
- ◆事業法人・・・事業提携先や新規事業の案件探し
- ◆公的機関・・・日本経済の活性化活動の一環 (雇用促進・ 税収アップ)
- ◆金融機関・・・営業活動との相乗効果 (優良融資先の発等)

第5期は、5億円募集しました。  
ファンド総額は77億6400万円です。

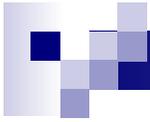
## 6. 投資実績



## 7. ファンドによる投資と自己投資

(単位:百万円)

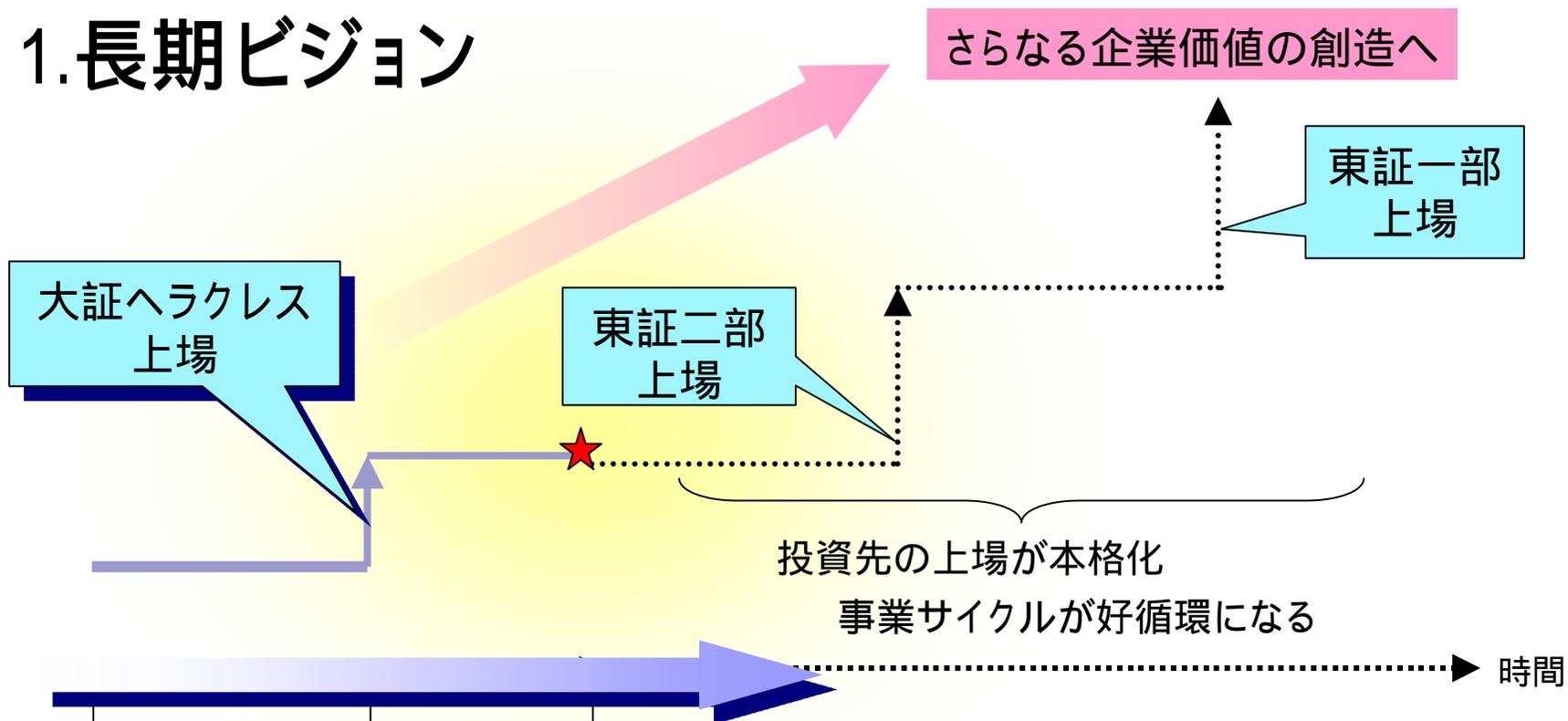
投資実行額		第4期		第5期			
	種類	金額	社数	金額	社数		
自己投資	株式	52	1社	2	1社		
	社債	1,773	20社	20	1社		
ファンド投資	株式	1,723	48社	562	38社		
	社債	333	12社	170	4社		
合計	株式	1,775	49社	564	39社		
	社債	2,106	32社	190	5社		
投資残高		第4期末		第5期末			
	種類	金額	社数	金額	社数	うち間接VC	
自己投資	株式	14	1社	16	2社	金額	社数
	社債	205	6社	225	7社	205	6社
ファンド投資	株式	4,860	97社	5,000	113社		
	社債	529	21社	582	21社		
合計	株式	4,874	98社	5,016	115社		
	社債	733	27社	807	28社		
ファンド自社持分		1,287	100社	1,214	116社		



## 第三部

# 将来の展望と戦略

# 1.長期ビジョン

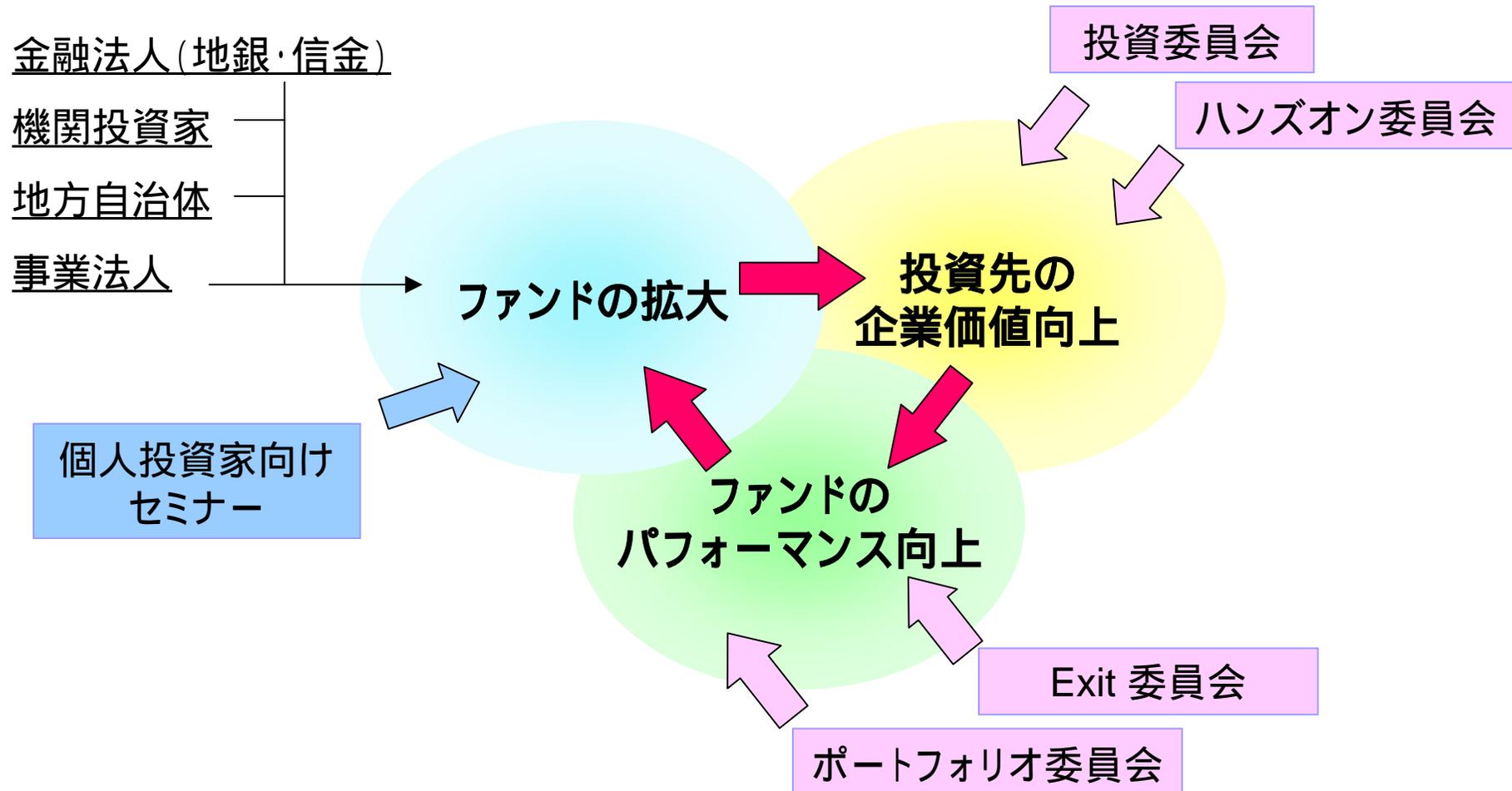


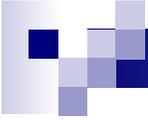
98.9.11      01.10.10      03.11.18

ステージ	創業 & 上場準備	組織整備	トラックレコードの確立と再現性確保		さらなる飛躍
			経常黒字化	黒字体質化	
出資者	エンジェル、自治体、事業団	金融機関、自治体、事業団、商社		機関投資家 (年金基金等の資金)	投資信託 (個人のリスクマネー)
地域	京都、石川	東京、岩手	関西地盤の強化	全国展開へ	

## 2. 中期経営戦略

### (1) 委員会の設置による、事業サイクルの円滑化





## (2) IRの強化

個人投資家向けセミナー

ホームページ上で適切かつ適時の情報開示

アナリスト向け会社説明会、決算説明会の充実

## (3) ファンド組成

中小企業総合事業団、地方自治体

個人投資家

会社型投資信託

年金基金

## (4) 蓄積されたノウハウの活用で収益確保

各種コンサルティング

## (5) 投資先上場予定